

# 港湾振興便り



2026. 9  
第232号

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*\*

## 目 次

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*~

- 1 ポートエッセイ ― 日本を襲う未曾有の災害に対して ―  
～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

## 2 トピック

- 青森港に飛鳥Ⅱとダイヤモンド・プリンセス 2隻同時寄港！  
(東北地方整備局 青森港湾事務所)
- 「海洋都市横浜うみ博2026」に参加  
(関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課)
- 令和8年度「海の日」海事関係功労者表彰式典を開催！  
(中部地方整備局 港湾空港部 港政課)
- 「四日市港まつり」にブース出展しました！  
(中部地方整備局 四日市港湾事務所)
- 兵庫県内の教職員向けに港湾に関する講義を実施しました  
(近畿地方整備局 神戸港湾事務所)

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*

## 1 ポートエッセイ ― 日本を襲う未曾有の災害に対して ―

～ 日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 中原 八一 ～

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*

この夏、熊本を大きな地震が襲い、千葉や北陸では記録的な豪雨が発生した。今回の災害でお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

千葉県の豪雨では、5段階の警戒レベルのうち最も危険度の高い「レベル5」の大雨特別警報が発表された。記録的な雨量と広範囲に及ぶ浸水により、人的被害をはじめ、住宅、交通、ライフラインなど、あらゆる分野で甚大な被害が発生した。新潟市でも7月に豪雨に見舞われたが、いずれの災害からも、排水能力の限界など、都市が抱える脆弱性が改めて浮き彫りとなった。

一方、7月28日に発生した令和8年熊本地震では、地震による甚大な被害に加え、猛暑というもう一つの脅威が重なった。

今年は、最高気温40度以上の日を表す「酷暑日」が気象庁の新たな名称として定められ、全国各地で観測された。熊本を含む九州でも観測史上初めて酷暑日を記録する中、被災地では停電や断水も発生し、厳しい暑さの中での避難生活や復旧作業を余儀なくされた。地震と猛暑が重なる、まさに「複合災害」とも言える状況であった。

さらに、避難所となった施設では、多くの避難者が集まる中、暑さへの対応も大きな課題となった。これまで経験したことのないような真夏の地震と、近年の猛暑を考えれば、避難所としても利用される学校などの公共施設について、暑さ対策等の新たな備えが必要になっている。

今回の地震は内陸部で発生したこともあり、港湾に関する報道を目にする機会は少なかった。しかし、今回の災害においても、港湾と船舶が果たした役割は決して小さくない。

新潟からも、大型浚渫兼油回収船「白山」が熊本へ向かい、飲料水、食料、医薬品、衛生用品などの支援物資を大量に輸送したほか、給水支援や入浴・洗濯支援なども行った。

地震によって道路が寸断される中、海上輸送はまさに生命線となる。港湾は、支援物資を運ぶ海上輸送の拠点であるだけでなく、「水・衛生・生活支援」の拠点となり、広域的な支援をつなぐ「ネットワーク」として機能する。そして、平時には物流や産業を支える「海のインフラ」である港湾が、ひとたび災害が発生すれば、人命と暮らしを守る「社会インフラ」へと姿を変える。今回の災害を通じて、港湾が持つ多面的な役割と、その重要性を改めて実感した。平時から港湾の機能を強化し、災害時にも確実にその役割を果たせるよう、港湾の強靱化をより一層進めていく必要がある。

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*\*

## 2 トピックス

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*\*

### ●青森港に飛鳥Ⅱとダイヤモンド・プリンセス 2隻同時寄港！

東北地方整備局 青森港湾事務所

青森港では、8月6日(木)に新中央埠頭に「飛鳥Ⅱ」、8月7日(金)に沖館埠頭に「ダイヤモンド・プリンセス」が青森ねぶた祭に合わせて寄港し、昨年に続き2隻のクルーズ客船が同時に接岸しました。

このうち「飛鳥Ⅱ」は、8月6日(木)に青森港にてオーバーナイトステイを行い、2日間に渡り青森ねぶた祭を堪能しました。

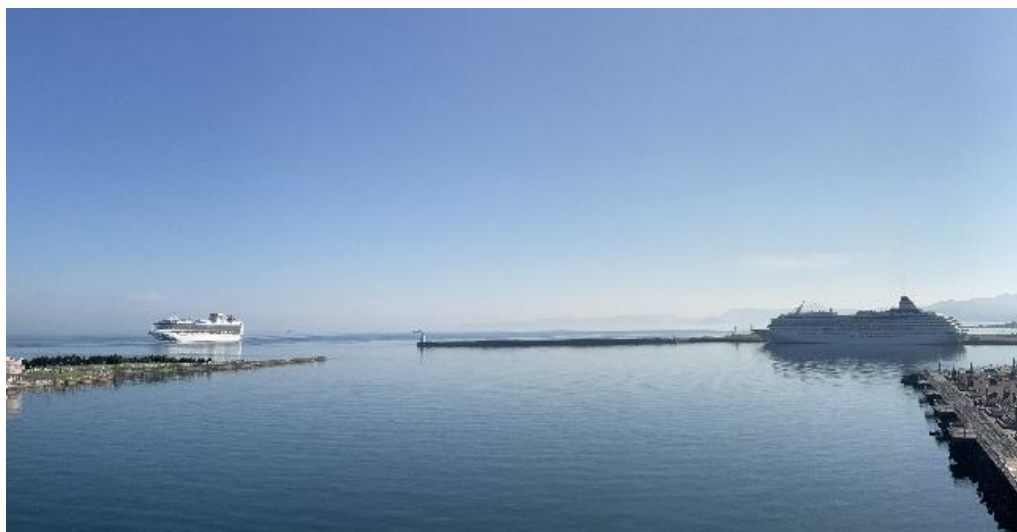
両船は、青森港を彩る、青森ねぶた祭最終日の花火の余韻に包まれながら、次の寄港地へ向かいました。



新中央埠頭に接岸している「飛鳥Ⅱ」



沖館埠頭に接岸している「ダイヤモンド・プリンセス」



2隻同時接岸している光景

●「海洋都市横浜うみ博2026」に参加

関東地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

8月8日(土)9日(日)、海洋都市横浜うみ協議会主催の「海洋都市横浜うみ博2026」が開催されました。海洋環境・技術課では、メイン会場である横浜市役所アトリウムにてブース出展を行い海洋環境整備事業についてなどのPRを実施しました。

「うみ博」は、展示ブースや、船の展示・見学、ステージプログラム、ワークショップなどにより、子供達に多様な海の魅力を体験する機会を提供するもので、今年は2日間で約23,000人の方々にご来場いただき、大きな賑わいをみせておりました。

メイン会場の当局ブースでは、先代の清掃兼油回収船「べいくりん」の模型がお子さん達の興味を大きく惹いておりました。また、夏休みの宿題の材料にと当局の環境への取り組みや、全国の海洋環境整備船について紹介したパネルの写真を撮影する姿もみられました。

当局ブースには2日間で約1,500人の方々が訪れ、東京湾での清掃兼油回収船「べいくりん」の活動や海洋環境整備事業についての理解を深めて頂きました。



当局ブースの様子

●令和8年度「海の日」海事関係功労者表彰式典を開催！

中部地方整備局 港湾空港部 港政課

7月30日(木)に、ウィルあいち(名古屋市)にて、令和8年度「海の日」海事関係功労者表彰式典を中部運輸局、第四管区海上保安本部と合同で実施しました。

中部運輸局、第四管区海上保安本部と合わせた全体の受賞者数は110名で、当局からは港湾功労、永年勤続、海をきれいにするための一般協力者を合わせて11名を表彰しました。



表彰式典の様子

●「四日市港まつり」にブース出展しました！

中部地方整備局 四日市港湾事務所

令和8年8月2日(日)、四日市港地区(四日市千歳町)において、「四日市港まつり」が開催されました。

本イベントは、海事思想の普及と、親しみと潤いのある港づくりを推進し、四日市港の振興発展に寄与することを目的に、開港記念日である8月4日に最も近い8月の第一日曜日に開催されています。

当日は天候にも恵まれ、会場は大きな賑わいを見せました。当事務所では、四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業や直轄海岸保全施設整備事業(四日市港海岸)などを紹介するパネル展示に加え、消波ブロック模型の積上げ、ドローンシミュレーター、記者会見風の写真撮影など、楽しみながら学べる体験型展示を実施しました。

子どもから大人まで多くの方々にお越しいただき、港湾・海岸事業の役割や公共事業の一端に触れていただく貴重な機会となりました。

今後も、地域の皆様に事業への理解と関心を深めていただけるよう、積極的な広報活動に努めてまいります。



展示ブースの全景



ドローンシミュレーター体験の様子

## 近畿地方整備局 神戸港湾事務所

本研修では、当局職員に加え、地元自治体職員や学識経験者にもご協力いただき、最新の港湾物流機能、海の環境保全、みなとの防災対策、賑わいの場となる神戸港などに関する講義が行われました。続いて、当事務所の港湾業務艇「いずみⅡ」により巨大なガントリークレーンが稼働するコンテナターミナルなどの港湾施設、当事務所で実施している工事の状況、GLION 神戸アリーナ開業などで生まれ変わる神戸のウォーターフロントを見学しました。これらの神戸港が果たす役割について、総合的に学習していただきました。

A man wearing a black jacket and a red scarf is seated in the front of a bus, speaking into a microphone. He is addressing a group of students who are seated in rows of red seats. The students are wearing blue and white uniforms. The bus has large windows on the left side, and the interior is brightly lit.

神戸港見学の様子



## 講義の様子

日本港湾振興団体連合会事務局

〒105-0002 港区愛宕1-3-4

TEL: 03-5776-0630 FAX: 03-5776-0631

e-mail: [bcf06323@nifty.com](mailto:bcf06323@nifty.com)

[illegible]